

書名	仏像イラストレーターが作った仏像ハンドブック			著者名	田中ひろみ／著		
出版社	ウェッジ	ISBN	978-4-86310-229-3	本体価格	¥1,600	発売	2020/11/18
内容	◎まんががあり イラストあり。仏像拝観の上級者・田中ひろみさんによる、仏像を見るためのコツを楽しく詰め込んだ便利帖 仏像拝観が好きでたまらない人、拝観してみたいビギナーに向けて、仏像イラストの先駆者である田中ひろみさんが、“仏像旅”のコツや、仏像を前にしたときの必要な知識(仏像の種類や手にする道具、装飾など)のキホンを、漫画とイラストで紹介。仏教の世界観や仏像そのもの、お寺の配置など、ちょっとした知識が増えるだけで、仏像拝観は10倍、20倍の深さと面白さに変化します。						

書名	日本古代都城の形成と王権			著者名	重見 泰／著		
出版社	吉川弘文館	ISBN	978-4-642-04659-6	本体価格	¥11,000	発売	2020/11/15
内容	古代の王宮は天皇の支配体系を顕示する舞台装置であった。飛鳥の諸宮を中心に難波宮などと比較し、殿舎の成立時期と機能を探り、藤原京に至る都城の造営計画を考察する。さらに飛鳥の広域空間を捉え、水の祭祀や陵墓の配置からも王権の正統性の主張を読み解く。天皇が抱いた王権の構想とそれを具現化する律令制都城の形成過程を新たな視点で描く。						

書名	読み替えられた日本書紀			著者名	斎藤 英喜／著		
出版社	KADOKAWA	ISBN	978-4-04-703701-4	本体価格	¥1,700	発売	2020/11/2
内容	日本書紀成立、1300年。為政者たちの“解釈”でさまざまに変容してきた日本書紀の成立以後、様々な注釈書が生まれた。一方で為政者の都合による解釈も行われた。とくに中世は、教や陰陽道などを使って注釈され、原典とは異なる「日本紀」が再創建された。日本書紀の受容の歴史をたどる。						

書名	まんがで読破 日本書紀			著者名	バラエティ・アートワークス／著		
出版社	イースト・プレス	ISBN	978-4-7816-8633-2	本体価格	¥750	発売	2020/11/9
内容	日本という国は、そして日本の天皇制は、いつどのように成立していったのだろうか？それらを示す伝承や記録などをもとに、日本創世の神話から続く天皇家の系譜と物語を日本の正史として記されたのが「日本書紀」である。飛鳥・奈良時代にまとめられ、実に1000年を越える昔からわ国の起源を伝えてきた歴史書を漫画化						

書名	総領事日記 関西で深める韓日交流			著者名	呉 泰奎／著		
出版社	東方出版	ISBN	978-4-86249-403-0	本体価格	¥1,800	発売	2020/11/9
内容	新聞記者(ハンギョレ新聞)出身の新米外交官が、管轄地(大阪・京都・奈良・和歌山・滋賀)の人や場所、行事を訪ね、見て聞いて話し、感じたあれこれ。2018年4月の第18代駐大阪大韓民国総領事赴任直後から総領事としての活動をブログで公開しており、2020年7月までの218話をまとめた。						

書名	47都道府県・名門／名家百科			著者名	森岡 浩／著		
出版社	丸善出版	ISBN	978-4-621-30549-2	本体価格	¥4,000	発売	2020/11/4
内容	取り上げられる名門/名家のジャンルも都道府県の特徴に従って多種多様。本書を読めば、各都道府県の地域特性を読み取ることもできる。また、現存する会社や商品等々も、歴史をさかのぼれば過去の名門/名家が始めたものだった、ということもしばしば。地域についての意外な事実が満載の一冊。						

書名	大和の古墳を歩く			著者名	森下憲介／著		
出版社	同成社	ISBN	978-4-88621-851-3	本体価格	¥2,400	発売	2020/11/1
内容	日本古代史の故郷大和。古墳研究のエキスパートが奈良県の古墳をあまねく訪ね歩き、ていねいに解説するとともにコースも適切にアドバイス。古代史探訪の最適なガイドブック！！						

書名	見るだけブック「日本史」(仮)			著者名	福田 智弘／著		
出版社	辰巳出版	ISBN	978-4-7778-2519-6	本体価格	¥1,300	発売	2020/11/26
内容	”図解”で理解！歴史の流れと相関関係がよくわかる！！ 見開き展開で「ドラマ」を観るように理解できます。従来の歴史学習本と異なり、「日本史」の重要項目をオール2色の図解で徹底解説した初めての本。日本史でこれだけは押さえておきたい項目を「人類のはじまりから新しい時代・令和まで」、85テーマ精選し、見るだけで歴史の流れと相関関係が理解できるようになっています。小学校高学年から大学受験生、歴史が苦手な社会人まで、簡単に読めて理解できます。						